

# 議員全員協議会会議録

平成30年12月19日

宮古市議会

## 平成30年12月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(12月19日)

議事日程	1
出席議員	2
欠席議員	2
説明のための出席者	2
議会事務局出席者	2
開 会	4
説明事項(1)	3
閉 会	9

# 宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時 平成30年12月19日(水曜日) 午後1時00分  
場 所 議事堂 委員会室

○

事 件

〔説明事項〕

(1) 平成30年度宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証(平成29年度実績)について

出席議員（21名）

1番	白石雅一君	2番	木村誠君
3番	西村昭二君	4番	畠山茂君
5番	小島直也君	7番	熊坂伸子君
8番	佐々木清明君	9番	橋本久夫君
10番	伊藤清君	11番	佐々木重勝君
12番	高橋秀正君	13番	坂本悦夫君
14番	長門孝則君	15番	竹花邦彦君
16番	落合久三君	17番	松本尚美君
18番	加藤俊郎君	19番	藤原光昭君
20番	田中尚君	21番	工藤小百合君
22番	古舘章秀君		

欠席議員（1名）

6番 鳥居晋君

---

説明のための出席者

説明事項（1）

企画部長	松下寛君	市民生活部長	長沢雅彦君
保健福祉部長	中嶋良彦君	産業振興部長	菊池廣君
危機管理監	芳賀直樹君	教育部長	大森裕君
企画課長	多田康君	総合窓口課長	高尾淳君
子ども課長	伊藤貢君	産業支援センター所長	下島野悟君
観光課長	三田地環君	港湾振興課長	小成勝則君
農林課長	菊池敦君	水産課長	佐々木勝利君
危機管理課長	川原栄司君	学校教育課長	佐々木寿洋君
生涯学習課長	田中富士春君	川井総合事務所長	大久保一吉君
企画課地域創生推進室長	三上巧君	企画課地域創生推進室主任	中居裕美君

---

議会事務局出席者

事務局長 菊地俊二 次長 松橋かおる

主 查 高 村 学



## 開 会

午後1時00分 開会

- 議長（古館章秀君） 全員揃いましたので、ただいまから議員全員協議会を開会いたします。  
ただいままでの出席は21名でございます。会議は成立しております。

○

### 説明事項（１） 平成30年度宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証（平成29年度実績） について

- 議長（古館章秀君） それでは次第に従いまして会議を進めてまいります。説明事項の1。平成30年度宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証（平成29年度実績）については、12月7日開催の総務常任委員会での説明の際、市当局から議会全体としての意見を提出願いたいとの説明がありました。それを受けまして、本日の議員全員協議会の開催となったものでございます。それでは、説明をお願いいたします。

松下企画部長。

- 企画部長（松下 寛君） 松下でございます。ただいまから、平成30年度宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証、平成29年度実績についてご説明したいと思います。この間、市民推進委員会でそれぞれ評価検証4回の会議を開きまして、評価検証してきたところでございます。9月には議会の総務常任委員会のほうでご説明いたしました。今回は議会の皆様からの評価検証に対しましてのご意見を頂戴したいということで、こういう場を設けさせていただきました。それでは、詳細につきましては企画課長のほうから説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

- 議長（古館章秀君） 多田企画課長。

- 企画課長（多田 康君） 企画課、多田でございます。それでは資料めくりながら説明をさせていただきますので、失礼ですが座って説明をさせていただきます。

まず、本題に入る前に宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の件でございます。冊子のほう、このようにできてございまして、皆様のお手元にも多分以前お配りしてあるところかと思えます。そもそもの発端は平成26年でございます。国のほうで少子高齢化に対応すること。それから人口減少に対応すること。それから東京とかの人口の一極集中に歯止めをかけて、地方での暮らしをしっかりと支えようということで、いわゆる、まち・ひと・しごと創生法という法律ができたところでございます。

それを受けまして、宮古市においても宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略ということで、28年の2月に策定をしたところでございまして、約3年ほどを経過したというところでございます。総合戦略については、それぞれの戦略を定めて事業を実施してきているところでございまして、1年ごとに評価検証しながら、次の年に向かって作業を進めてございますので、先ほど部長のほうから申し上げましたけれども、今年につきまして市民推進委員会のほう8月、9月あたり集中的に開かせていただいて、委員からもご指摘やご提言、評価をいただいたところでございます。あとは我々の自己評価も含めて評価・検証という資料にまとめましたので、その冊子の内容をご説明しながら、後ほど意見を頂戴したいというふうに考えてございます。

それではお手元の資料の表紙めくっていただきまして、1ページ目でございます。これまでの経過ということで、今ちょっとお話してしまったんですけども、今年については庁内手続きであるとか、あとは市民推進委員会を開きながら、この資料をまとめてきたというところでございます。

真ん中ほどでございますが、30年9月の10日。これにつきましては、議会の総務常任委員会のほうに主に数

字の部分は報告をさせていただいて、そこで意見を頂戴したところでございます。その後また庁内での手続き、それから総合計画のヒアリング等を踏まえて、おめくりいただきまして、今後の予定というところになってございますが、平成30年12月。先ほどお話しありました12月7日には総務常任委員会にご報告を申し上げたというところでございます。議会からのご意見ということで、後ほどまとめいただくということになっているようでございますけども、皆様からの意見も頂戴しながら、最終的には31年度の改正案に反映させていきたいというような内容でございます。31年の3月目指して作業を進めて参ります。

また議会の皆様には、まとめ次第、2月頃を予定しているところでございますけど、改正案も含めてご説明の機会を持ちたいというふうに考えているところでございます。

それでは資料の本編のほうに参ります。平成30年度宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証ということで、平成29年の実績の数値を持って評価をいたした資料でございます。

おめくりいただきまして、1ページには趣旨とかが書いてございますが、ここはちょっと割愛をさせていただきます。

2番目でございますが、平成29年度の取り組みに対する評価検証ということで、主にここは達成度のところをご覧いただきたいと思えます。達成度1、2というのがこれから出て参ります。達成度1につきましては、目標増加数に対する増加割合ということで、31年度の目標数値を定めておるところでございますけども、それに対して現在、どちら側に触れているのかと。プラスに振れているのかマイナスに振れているのかっていうのを表したものが達成度1ということでございます。

それから達成度2として表現しているのが、目標値に対する実績値割合ということで、ゴールに対して今どのくらいのパーセンテージにいるのかというのを表した数値ということで、以下達成度1、2という表記が出て参りますので、ご覧いただきたいと思えます。

それではページをおめくりいただきまして、2ページ目でございます。細かい表が付いているところでございますが、数値目標であるとか、重要業績評価指標、KPIと我々は呼んでございますけれども、これの一覧表を付けてございます。文中にある数値を一覧票にまとめて、こちらのほうにちょっと小さくなって恐縮でございますけれども、こういうようなまとめ方をしておるところでございます。太枠に書いてございますけど、ここで達成度1、達成度2というのが出てきてございます。達成度1、2に関しては、真ん中に引いてある線がゼロでございまして、これから右のほうにバーが出ているのが今プラスに振れている項目。それから左のほうにバーが出ているのがマイナスに振れている項目というふうにご覧いただければいいかと思えます。

それから隣に達成度2がございまして、ここも真ん中の、真ん中ではないですね。ちょっと右寄りのほうに、実線が引いてございまして、ここが目標に対する100%のところでございます。31年度の目標値がここですよということで、今どこの時点にいるのかということです。ですから、実線に達してないところには、今目標値に向かって数値を伸ばしている最中ですよという表になります。それから、この実線を超えているものについては、既に31年度の目標を達成して伸びていますというような表の作りになってございます。それでは各項目、ちょっと割愛をしながら読んで参りたいと思えます。

3ページ目に参ります。ここではいわゆる仕事という分野の基本目標を書いてございます。1番上に地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出するというような基本目標を抱えている分野でございます。基本目標に対する評価ということで、数値目標については市民1人当たりの分配所得がいくらであるのか。それから高校新卒者のうち、就職希望者の管内就職率がどのぐらいであったのかというのを指標

としておるところでございます。高校新卒者のうちのところに、欄書きに数字がなっておりますが、パーセンテージで表すところがございますけれども、実数も併せて表記しております。例えば、平成29年度の実績をご覧くださいますと、平成30年3月の数値で49%となっておりますところがございます。実態としては194人中の96人が管内就職を果たしましたというふうに読んでいただければと思います。達成度2としては今70%の段階にありますよというような見方をご覧くださいればよろしいかと思います。

下のほうに参ります。基本方向の1でございますが、本州最東端から国内外に向けた産業振興戦略というふうに基本方向を一応定めているところがございます。それでは具体的な政策の①でございますが、稼ぐ一次産業、宮古を味わう食産業の実現というふうに施策を定めております。重要業績評価指標に対する評価ということで、K P Iに対する評価をここで加えてございます。下のほうの数値を引用してございますが、林業の総生産額、水産業の総生産額は目標を上回った。各事業の取り組みの成果が表れている。あとは今後も生産額の向上に取り組む必要があるというような評価にしております。

それから下のほうに参ります。施策に対する評価のところでございます。ここは全文を読みます。水産業、林業において総生産額が増額したことから、戦略の達成に向けて進んでいると評価できる。市民推進委員会からは、三陸ブランドや宮古ブランドをつくり、質で勝負するという意見や規格外のを加工に回し、地元消費を拡大するという意見があった。今後はさらなる向上のため、増額に向けて、これらに取り組んでいく必要がある。一方、農業総生産額の減少については、農業生産を増加させるための事業が、戦略の中の個別事業として挙がっていないため、減少の原因を把握することができなかった。改めて戦略に位置づける事業を抽出し、その進捗状況や事業内容について検討していく必要がある。というふうに評価をまとめておるところでございます。個別の事業につきましては、以下の表に事業名を挙げて担当課が評価をいたしました自己評価。それから、市民推進委員会に出した際に、この事業ごとに意見を頂戴した結果を要約して、こちらのほうに上げておるところでございます。

5ページ。次のページに参ります。具体的な施策の②番でございます。地域資源を生かした水産加工品の製造と企業誘致による製造業の振興というような分野でございます。K P Iに対する評価はこの文と表のとおりでございます。下のほうに参りますが、施策に対する評価を読みます。K P Iでは事業の成果が表れてきている。一方で、フェリーの就航など産業を取り巻く環境が変化してきていることから、官民一体となって新たな発想の取り組みを進める必要がある。また、人材不足の問題も出てきていることから、企業誘致などの取り組みと合わせて人材確保の取り組みも行っていく必要があるというふうに評価をまとめておるところでございます。

続いてページお進みいただきます。6ページ目に参ります。今度は基本方向の2でございますが、若い世代が活躍する産業戦略というような分野でございます。具体的な施策の1番として、人材の確保・育成支援というふうに挙げてございます。就農者の数は概ね平成31年度目標並みということでございまして、林業の就業者数は新規就業者がいないというような状況でございます。漁協の新規組合員数は、29年度に大幅な増加となっているというのが、下の表の通りで読み取れようかと思います。それに対する評価でございます。7ページ目の上のほうに参ります。農林水産業の新規就業者に対する事業については、一定の効果が上がっており、今後も継続して取り組む必要がある。若者に対しては、新規学卒者及び次世代経営者を対象とした事業を実施しているが、一度宮古離れた若者や大学生向けのP Rやインターンシップへの取り組みがなされていない。民間団体から協働の申し出があることから、民間団体のノウハウを生かした事業展開を検討する必要があるというふうにまとめておるところでございます。こちらにも総務常任委員会でもご質問頂戴いたしまして、この民間団体からの協働

の申し出とは何だというようなご質問いただいたところでございます。市民推進委員会においては、これはみやっこベースのことでご提言がございまして、みやっこベースとは若者が集まっているNPO団体がございすけれども、こちらのほうでも修学旅行とか遠足と称して各種事業やっておるところでございます。若者に対して地元を向けてもらうような事業やっておるところでございますので、それらと行政の仕事と協働で何かできませんかというような提案いただいておりますので、そういうものを評価のほうに取り込んだというようなところでございます。

それからページお進みいただきます。8ページに参ります。今度は基本方向の3でございますが、ワークライフバランスのとれた就労環境の創造という分野でございます。具体的な施策の1番として、生活とバランスのとれた労働時間の推進というふうに挙げてございますが、KPIに対する評価については、事業検討段階であり、実施に至っていないということです、これ実績なしとなっているところでございます。そのちょっと下に参りますが、施策に対する評価については、市が企業にどのような子育て支援を求めるとかが明確になっていないなどの理由で、事業実施に至っていないものが見受けられる。施策実現のための具体的な事業内容の検討が必要というふうにまとめておるところでございます。

それから9ページに参ります。ここからは、今度は人の部分でございます。人の分野ということで、子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえるというような基本目標を挙げておるところでございます。基本目標に対する評価としては、数値目標として25歳から39歳人口の未婚率。これを改善しようということ。それから子育て環境に対する満足度を上げようということ、数値目標を二つ挙げておるところでございます。

基本方向の1、結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略。具体的な政策の①番でございますが、出会い・結婚・出産・子育て支援の展開というような施策でございます。KPIに対する評価はご覧のとおりでございます、それぞれの数値もご覧のとおりでございます。それに対する評価。次のページに参ります。10ページでございます。出会いの場を作った回数については、平成29年度より市の直営事業を実施したことにより2件の実績となったが、民間イベントの実施がなかった。今後は出会いづくり支援事業の周知方法を工夫するなど、民間における取り組みの拡大を図っていく必要がある。子育て支援拠点事業年間利用組数が目標値を上回っていることから、地域子育て拠点事業などの効果が表われてきていると評価できる。市民推進委員会では利用者のニーズ、満足度の調査を求める意見が多く出ており、今後調査を実施していく必要があるというふうに評価をまとめておるところでございます。

それから次のページ。11ページの真ん中ほどに参ります。ここからは具体的な施策の②番でございますが、働きながら子育てしやすいまちづくりというような分野でございます。KPIに対する評価はご覧のとおりでございます。待機児童数については、いずれの年度目標は達成できていないというような評価にしておるところでございます。施策に対する評価。下のほうに参ります。待機児童数は平成29年度時点で27人となっているが、家庭的保育事業所開設準備補助金事業を利用し、新たな施設の開業や私立保育園の増設などにより解消が見込まれる。保育士の確保については、平成30年度から新たな事業が始まることから、その効果が期待される。市民推進委員会では、制度のPR、就職後のフォローアップを行うべきとの意見が出されたことから、これらを事業に反映させることが必要というふうなまとめ方をしておるところでございます。12ページには、その施策の一覧表が載っております。

下のほうに参ります。今度は基本方向の2番でございます。郷土愛し、拓く人づくり戦略。具体的な施策の①

として、郷土を愛し、誇りが持てる学び教育の充実という分野でございます。K P I に対する評価については、宮古市への愛着度というのを挙げているところでございますが、これは市民満足度調査を引用してございまして、平成25年に実施しました。今回11月に平成30年度分を実施してございまして、現在の取りまとめの最中でございますので、新しい数値が上がってございませませんが、25年を今引用しておるところでございます。

次のページ。13ページの中程に参ります。施策に対する評価を読み上げます。新宮古教育プラン事業（パワーアップ事業）等の実施により、スポーツ・文化の全国大会出場団体・個人数などに効果が表らわれている。今後も継続が必要。宮古市への愛着度は定住化にもつながる。市民推進委員会では児童生徒が郷土に関心を持つような取り組みをすべきとの意見が出た。小中学生を中心に郷土について学ぶ機会を増やしていく必要があるというような評価してございます。施策の一覧については、以下の通りでございます。

ページをめくっていただきまして、14ページに参ります。ここからは、まちの分野でございます。地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくるという基本目標を掲げておるところでございます。

基本方向の1でございますが、住み続けたいまちづくり戦略。具体的な施策の①地域拠点を中心としたにぎわい創出というような分野でございます。K P I に対する評価でございますが、中心市街地の歩行者交通量は減少傾向にあり、目標達成には至ってございません。新規出店数については、27年度以降増加を続けており、平成29年度には目標を達成したというふうになっているところでございます。ここも総務常任委員会でご指摘ございまして、絶対値であろうというようなご指摘をいただいておりますが、数値上の取りまとめはそのとおりとなっているところでございます。下のほうに参りますと施策に対する評価。中心市街地の歩行者交通量は減少しているものの、新規出店数が増加していること。平成30年10月に市役所本庁舎が移転したことなどから、今後は歩行者数の増加が期待される。市民推進委員会では、空き店舗の利用、既存店舗の営業等に対する意見が出たことから、中心市街地ににぎわいを生む事業を行うことが必要であるというような評価をしてございます。

それから次のページ。15ページの中程に参ります。具体的な施策の②番でございます。安全で快適に暮らせる生活基盤の確保ということで、K P I に対する評価でございます。医療に対する満足度。これも先ほどのとおり平成30年の市民満足度調査で最新の数値が出てこようかと思っておりますので、25年数値しか入ってございません。あとはブロードバンドの利用可能世帯数は29年度に目標達成している。それから鉄道バス等の年間利用数は徐々に減少しておるといような現況にございます。ページめくっていただきまして、16ページに施策に対する評価をまとめてございます。空き家対策事業に対し、市民推進委員会では、実績がないことから民間に任せるべきとの意見が出た。今後の動向に注視し、事業の廃止も検討する必要がある。公共交通関係については、利用者の減少が見られるが、市民推進委員会では市民の足としてある程度の本数は維持していくべきとの意見が出された。今後も維持のための支援が必要というふうにまとめておるところでございます。

それから右に参りまして17ページの基本方向の2でございます。交流人口の拡大戦略ということで、具体的な施策の①番、森・川・海の地域資源を生かした交流拡大の推進ということになってございます。観光客の入込数、宿泊者数、それから体験プログラム利用者数、客船寄港の回数。いずれも目標を達成できなかったというような評価でございます。体験プログラムについては目標には届かなかったものの、28年度よりは大幅に利用者数は増加しているというようなまとめをしてございます。中より下のほうに参りますと、施策に対する評価をまとめてございます。潮里ステーション整備事業（道の駅たろう）の実施により、学ぶ防災の拠点が整備されたことから、体験交流プログラムの利用者数が増加をした。今後も継続して観光宣伝等を行うことにより、観光客入込数等を増やす必要があるというようなまとめとしてございます。

続いて、次のページ。18ページに参ります。具体的な施策の②番でございますが、自然・伝統・文化を満喫できる拠点づくりの推進ということで、K P Iに対する評価をまとめておるところでございます。下のほうに参りますと施策に対する評価ということで、公衆無線W i - F i 環境整備事業により道の駅等にW i - F i が整備をされ利便性が高まった。利用者の増加に一定の効果があると推察される。また、観光DMO事業と森・川・海の自然教育活動拠点づくり推進事業と道の駅との連携も検討が必要。市民推進委員会では、市内に子供を連れて遊べる場が欲しいとの意見が出されたことから、グリーンピア三陸みやこや道の駅などを拠点とした場の整備を行う必要があるというふうに評価をまとめておるところでございます。

それから19ページに参りまして、基本的方向の3。U・Iターンの促進戦略でございます。具体的な施策の①番、U・Iターン者への各種支援の充実ということで、K P Iに対する評価。空き家バンクの登録数は目標に届いておりません。それから空き家リフォーム補助につきましては、実績がなかったというような現況でございます。下のほうに参りますと施策に対する評価をまとめてございます。空き家対策事業は実績が伸びていないものの、新規事業であることから平成30年事業も継続しながら、今後の動向を注視する必要がある。移住については、U・Iターン者の雇用等についても考える必要がある。市民推進委員会で意見が出されたように、ハローワーク等との連携が必要というふうにまとめておるところでございます。

それから最後20ページでございます。具体的な施策の②番、シティプロモーションの実施というところでございます。K P Iに対する評価はご覧のとおりでございます。移住者向けホームページアクセス数としてございますが。これも再三ご指摘を頂戴しているところでございます。ホームページの内容がなかなか充実していないということで、更新もろくにされていないというようなご指摘を重々いただいているところでございます。施策に対する評価の部分。移住者向けホームページアクセス数が減少していることから、新たな移住希望者の目を引くようなコンテンツの作成が必要と。併せて宮古シティプロモーション推進事業による宮古ブランドのP Rも検討する必要があるというふうに評価をまとめておるところでございます。

以上、大分端折って説明をさせていただきましたが、評価検証の結果については、このとおりにまとめたところでございます。評価に対しまして、またご意見を頂戴したいと思っておりますので、後ほど事務局を通して取りまとめのほうをお願いしたいというふうに考えてございます。説明のほう以上でございます。

○議長（古舘章秀君） 説明が終わりました。この件について何かご質問があれば挙手願います。

〔挙手する者なし〕

○議長（古舘章秀君） ほかになければ、この件は終わります。

説明員は退席願います。

〔説明員退席〕

○議長（古舘章秀君） この件につきましてのスケジュールでございますが、今後各常任委員会で協議していただき、意見を提出していただきたいと思っております。取りまとめた意見を、議員全員協議会で確認していただきます。開催時期は来年1月を予定しているところでございます。確認した意見を議長名で議会の意見として市当局へ文書で提出いたします。以上のスケジュールで進めて参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

次にその他ですが、皆様から何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者多数〕

---

閉 会

○議長（古館章秀君） なければこれをもって議員全員協議会を開会します。  
ご苦労さまでした。

午後1時25分 閉会

---

○

宮古市議会議長 古 館 章 秀